

～森林組合だより～

第16号 令和6年12月

発行 そらち森林組合

樺戸郡新十津川町字中央 302-1

TEL 0125-76-2051

FAX 0125-76-2760

岩見沢支所、美唄支所、月形支所

木材市況

木材の市況については、住宅関係の木材が依然として減産・低調で推移しています。長引く木材需要低迷によって製材工場の倒産などが懸念され、中国産木材が道産材より安価で関東圏に流通しているなど、木材および道産材需要回復の兆しが見えない厳しい状況となっています。そのような中において、道木連ならびに道森連では、道内各自治体に対して公共建築物の改装、改築における木質化や道産材の利用を要望するなど道産材の普及拡大を図っており、追い風となるよう期待しているところです。

当組合でも、動向を注視しながら造材費用の独自助成、低密度植栽の実施、造林作業の機械化による省力・低コスト化の推進をはじめ、林地未利用残材のバイオマス発電への原料供給、販路拡大などの対策・取組を進めています。

原木・工場着m³

(単位:円)

素材	規格	日付	12～13cm	14～18cm	20cm以上
カラマツ素材	2.2～2.4m	令和6年6月24日 市況	8,500	9,500	10,500
		令和6年10月24日 市況	8,000	9,000	10,500
		対比	△500	△500	0
	3.65m	令和6年6月24日 市況	10,500	12,400	13,800
		令和6年10月24日 市況	10,500	12,500	13,500
		対比	0	100	△300
トド素材マツ	3.65m	令和6年6月24日 市況	10,500	11,500	13,500
		令和6年10月24日 市況	10,500	11,500	13,500
		対比	0	0	0

原木・工場着m³

(単位:円)

パルプ材	日付	カラマツ	トドマツ	広葉樹
	令和6年6月24日 市況	6,700	7,800	9,500
	令和6年10月24日 市況	6,700	7,500	9,300
	対比	0	△300	△200

上記金額は1本当りではなくm³当たりの単価です。

地区別懇談会が開催されました

10月29日（火）、30日（水）、31日（木）の3日間、管内5会場で令和6年度の地区別懇談会が開催されました。懇談会では、空知総合振興局森林室川鍋課長から「ヒグマ被害に遭わないために～森林内で気をつけること～」と題した講話をいただいたのち、当組合職員から販売情勢および林地残材の現状と今後の取り組みについて説明を行いました。また懇談会後には個別相談も行われ、参加された皆さんは熱心に相談されていました。懇談会で当組合にいただいたご意見や質疑は理事会で報告および協議を行い、事業運営に取り入れるよう対応して参ります。

懇談会後には、任期満了に伴う役員改選に向けた役員推薦委員選出会議をそれぞれ開催いたしました。



新十津川会場



月形会場



砂川会場

感謝状を受領しました(水源林造成事業)

除間伐などの森林整備の計画的な実施により、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌の保水力の強化や維持、土砂流出の抑制を図り、流域治水の強化促進などを目的とする「水源林造成事業」において、全道累計3万ヘクタールを達成したことを記念し、10月2日（水）、札幌市で北海道水源林造林協議会主催の北海道水源林造成事業3万ヘクタール達成記念式典が開催され、当組合から大窪組合長が出席しました。

記念式典では、当組合が水源林造成事業の推進に貢献したとして、感謝状を受領しました。当組合での水源林造成事業による植栽面積はこれまでに1,713haとなっており、この感謝状拝受を励みに、私たちの暮らしを支え、豊かにする山づくり・地域づくりへ、組合員・関係機関の皆さまのご指導とご理解をいただきながら、人と森林をつなぎ、森林を次代へつないでいく取り組みを推進して参ります。



空知地区森林組合振興会役職員研修事業

10月24日（木）、25日（金）の日程で、令和6年度空知地区森林組合振興会役職員研修事業が札幌市及び石狩市、小樽市で行われ、空知管内4つの森林組合から47名の役職員が参加しました。

研修1日目には、北海道森林組合連合会を訪れ、北海道森林組合連合会遠藤参事から「求められるコンプライアンスの遵守」についての講話をいただいたのち、小樽市へ移動し、株式会社新宮商行銭函工場において、木材加工などの視察研修を行いました。2日目には、現在石狩新港に建設中の石狩バイオマス発電所の建設工事進捗状況について佐藤所長から説明・報告をいただきながら見学を行いました。森林組合役職員としての知見を広め、日頃接点の少ない他組合との情報交換、交流を通じて親睦を深めることができ、有意義な研修となりました。



コンプライアンス研修（札幌市）



新宮商行（小樽市）



石狩バイオマス発電所（石狩市）

ドローン測量

建設や土木現場、農業、災害調査、物流などさまざまな分野でドローンが利活用されています。ドローンを使用して空中から測量を行う新技術であるドローン測量は、従来の測量方法に比べて精度の高さ、手軽さ、効率の良さといったメリットがあり、当組合でもドローンを導入し、従来の測量と合わせてドローン測量を行っています。

ドローン測量では、航空写真および現地で飛行エリア（測量エリア）を確認し、ドローンと連携する自動操縦アプリで飛行（測量）ルートや飛行速度、高度などを設定します。設定と飛行準備が完了したら、ドローンを測量エリアに飛ばし、上空から測量エリアの撮影を行います。撮影した画像データを契約しているクラウド型測量サービスへ送付すると、撮影した写真をつなぎ合わせて、歪みなどが処理された三次元点群データ（3D上に分布された独立した点の集合データ）とオルソ画像（空中写真をひずみや傾きのない画像に変換したもの）が作成され、地図や航空写真上に測量データが示されます。



場所によってはドローンの飛行が困難な場合があったり、雨・風によって飛行ができないというデメリットもありますが、従来の測量作業よりも圧倒的にスピーディー、手間なく測量することができます。



秋植林が終了しました

伐採後の「地拵え」を終えた山林から、順次、秋植栽（当組合計 67.16ha）が進められ、今年は降雪が平年より遅かったこともあり、順調に造林が行われました。

伐採後の再造林を確実に行うことは、森林の多面的機能を持続的に発揮させ、森林資源の循環利用を促進するうえで極めて重要です。

北海道では、造林の低コスト化や軽労化が喫緊の課題であるとして、下刈り仕様の改正や低密度植栽の推進といった“新しい林業”に向けた取り組みを進めています。当組合においても測量ドローンやポット苗による植栽の導入など、“新しい林業”へ向けた取り組みを行っています。



年末年始のお知らせ

当組合では、年末年始の休業につきまして、下記のとおり休業日とさせていただきます。

【休業日程】

令和6年12月28日（土）～令和7年1月5日（日）

令和7年1月6日（月）から通常業務となります。期間中は、大変ご不便・ご面倒をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

名義変更等の届け出について(お願い)

組合員の皆さまにおかれましては、日頃より当組合の運営にご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、組合員の皆さまにおいて、山林の売却、購入、譲渡、相続、住所変更などがありましたら、当組合へご連絡いただきますよう、お願いいたします。また、総会開催案内などの郵便物が不達となる場合がありますので、転居された際は、郵便局に「転居届」をお届けください。

当組合の定款、規約の閲覧および提供は可能ですので、ご希望がありましたらご連絡ください。写し（コピー）の際は実費をご負担いただきます。